

黒田湖山 小説家。明治十年五月二十一日滋賀縣生れ、大正十五年二月十八日没（八七—九三）。本名直道。別號湖山人。東京某中學校の學ぶ。新聞記者。巖谷小波を中心とする木曜會に加はる。

編著書、向井大放著『破顔の議會』（本名、編、明治三十四年十一月）、『白美育社』、？作『女人爲漂流記』（同、編、明治三十五年一月）

『二十日美育社。附録・黒田湖山「平朝細波（磯の足跡）」』、『大學

攻撃』（明治三十五年六月二十七日美育社「新青年小説叢書」）、『滑

稽旅日記』（大正九年九月二十一日博文館）、『當世氣質新曲様』（大正

二年十一月二十七日博文館）、『集金手紙』（大正九年一月十日手紙

研究會）等。